

発達段階	特性	人物の再現	空間の再現	色彩の再現	デザイン	刺激題目	技法
様式段階 (7才～9才)	反復による概念の発見が様式になる	能動的な知識と個人的な特性に基づく明確な概念 幾何学的な線によって表現された人物の略画	最初の明確な空間概念：基底線 環境の部分であることの発見 主観的な空間の再現 空間——時間の概念	色彩と対象との明確な関係反復による：色彩、様式	意識的な接近はない 反復を求める衝動によって受け入れられたデザインの特徴	「私たち」「動作」「場所」時間の連続の題材(物語)内部と外部	色のクレヨン、チョーク、ポスター絵具(テンペラ) 大きな紙、剛毛の筆、粘土
写実主義の開始 前青年期の危機 (9才～11才) ギャング・エイジ	自己に対する強い意識性 様式からの移行 幾何学的な線からの移行 協同の欠如 変遷の時期	顕著なぎこちなさ 衣服の強調 少年と少女の差異 写実的な線にむかう傾向 様式的な再現からの移行	基底線概念からの移行 重なり 平面の発見 自己中心的態度から生じる空間関係における困難性	色彩の客観的段階からの移行 情緒的な意味をもった主観的な色彩 経験	装飾に対する最初の意識的な制作 材料の使用とデザインのための機能	(1)集団制作 (2)制作法 (3)題材による協同 種々の職業 スーツ・ドレス 重なり	線の表現からの移行のためにクレヨンは用いない ポスター絵具 粘土、チョーク、リノリウム彫刻、織物、木材、金属
擬似写実主義の段階 推理の時期 (11才～13才)	発達した知能 ただし無自覚 写実的な制作(無意識) 視覚型あるいは非視覚型への傾向 劇化の愛好	接合法 身体運動の視覚的観察 釣合い 非視覚型の表現の強調	三次元の表現への衝動 遠距離の物体の大きさの縮小 地平線(視覚型)	事実上の色彩の変化(視覚型) 色彩に対する情緒的な反応(非視覚型)	様式化への最初の意識的な制作 職業をあらわす象徴 種々の材料の機能	環境における劇的な動作 想像やポーズ(「ふき掃除」のように意味のある)による動作 内容の強調による釣合い 色彩のムード 壁画：「から～まで」 材料によるデザイン モデリング	グワッシュ(水彩とテンペラ) ポスター絵具 剛毛の筆、ヘアブラシ 粘土 リノリウム デザイン用の材料：織物、木材、金属、紙粘土
決定の時期 青年期の危機 (13才～17才)	環境に対する批判的意識性 三つのグループ： (1)視覚型(50%)： 媒介：目 創造的関心：環境、概観 (2)触覚型(25%)： 媒介：身体 創造的関心：自己表現、主観的経験の情緒的な制作 (3)中間型(25%)： 反応はどちらの方向にも限定されない 創造的関心：抽象	視覚型：外観の強調 光と陰 瞬間的印象の描写 客観的妥当性のある写実的な解釈 触覚型：精神的な表現の強調 情緒的特性 価値の釣合い 個人的な解釈	視覚型：遠近画法による再現 遠距離の物体の明白な縮小雰囲気 外観 ムード 三次元の特徴 光と影 触覚型：自己に関する価値の遠近画法、対象の価値関係 基底線の表現	視覚型：事実上の色彩の外観 色彩の反対 距離とムードに関する色彩環境の特性の変化 分析的態度 印象主義 触覚型：色彩のもつ表現的、主観的な意味 意味のない固有色 情緒的な意味により変化する色彩 色彩の心理的意味	視覚型：形、釣合い、リズムの美的解釈 装飾的デザイン ハーモニーの強調 触覚型：抽象的特性の情緒的デザイン 機能的デザイン 工業デザイン	視覚的・触覚的刺激 環境と人物 外観と内容 解釈を伴うポーズ スケッチ 彫刻 グラフィック・デザイン 色彩画 壁画	スケッチ：クレヨン 油絵具 テンペラ 水彩 イーゼルペインティング 壁面彫刻：塑像材料 石膏とり 木材、石材 グラフィック リノリウム彫刻 エッチング 石版 シルクスクリーン ステンシル エアブラシ ポスター制作 デザイン：装飾的、機能的、工業的